

三溪園における東京2020オリンピック・パラリンピック 開催期間を中心とした催事の企画運営に関する プロポーザルを実施します！

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中では、横浜スタジアム及び横浜国際総合競技場（日産スタジアム）が会場となっており、国内外から多くの観戦客が横浜を訪れることが想定されることから、三溪園においても特別な催しを実施することを検討しています。その企画から運営までを実施する民間事業者等を公募型プロポーザル方式で選定します。

1 事業目的

三溪園は、10棟の重要文化財を含む17棟の歴史的建造物と、国の名勝指定を受けた広大な日本庭園を有しており、日本の歴史・文化を示す施設として、また、国内外から要人を迎える際の迎賓施設としても活用されています。また、最近では、クルーズ旅客等の訪日外国人旅行者の来園が増えています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、横浜スタジアム及び日産スタジアムが会場となっており、開催期間中は国内外から多くの観戦客が訪れることが想定されることから、三溪園においてもこの期間中を中心に、特別な催しを開催することを検討しています。その企画から運営までを実施する民間事業者等を公募型プロポーザル方式で選定します。

なお、本事業の実施は、横浜市の令和2年度予算が議会の議決を経て確定した後、当該年度の事業計画が決定することにより確定するため、現時点において事業の実施を確約するものではありません。

2 業務内容

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間を中心とした催しの企画
- (2) 運営
- (3) プロモーション

3 公募要項等

文化観光局観光振興課のホームページから公募要項等をダウンロードして御確認ください。

URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/kanko-event/kankojoho/sankeien/sankeien.html>



(裏面あり)

4 事業スケジュール

令和元年度	1月17日（金）	公募開始
	1月24日（金）	第一回質問書 提出期限
	1月31日（金）頃	質問回答
	2月14日（金）	参加意向申出書 提出期限
	2月18日（火）	提案資格確認結果通知
	2月28日（金）	第二回質問書 提出期限
	3月6日（金）頃	質問回答
	3月16日（月）	提案書提出
	3月23日（月）	プロポーザル評価委員会 （プレゼンテーション、ヒアリング、審査）開催
令和2年度	4月中旬	受託候補者決定 委託契約締結
	7月24日～8月9日	東京2020オリンピック競技大会
	8月25日～9月6日	東京2020パラリンピック競技大会
	10月30日（金）	実施報告書の提出（履行期限）

5 施設情報

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家 原 三溪によって、1906年（明治39）5月1日に公開されました。175,000㎡に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されています。（現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟）

東京湾を望む横浜の東南部・本牧に広がる広大な土地は、三溪の手により1902年（明治35）頃から造成が始められ、1914年（大正3）に外苑、1922年（大正11）に内苑が完成するに至りました。三溪が存命中は、新進芸術家の育成と支援の場ともなり、前田青邨の「神輿振」、横山大観の「柳蔭」、下村観山の「弱法師」など近代日本画を代表する多くの作品が園内で生まれました。その後、戦災により大きな被害をうけ、1953年（昭和28年）、原家から横浜市に譲渡・寄贈されるのを機に、財団法人三溪園保勝会が設立され、復旧工事を実施し現在に至ります。

名 称	三溪園		
施設の所有・管理者	公益財団法人三溪園保勝会		
所在地	横浜市中区本牧三之谷 58-1		
敷地面積	約 175,000 ㎡		
施設概要	三溪園ホームページ（下記 URL）を御参照ください。 https://www.sankeien.or.jp/index.html		
都市計画による制限	用途地域：第1種低層住居専用地域	建ぺい率：40%	容積率：80%
	高度地区：第1種高度地区	防火指定：なし	
	風致地区：第3種風致地区		

お問合せ先		
文化観光局観光振興課長 永井 由香	TEL	045-671-3940